



ほうかつだより

回
覧

個別支援地域ケア会議、地域課題検討ケア会議について

1

隣のおじいちゃん、一人暮らしで物忘れもでてきて心配だな、夜遅くに外に出ていたし…こんな時ってどうすればいいんだろう・・・



そんな時は
個別支援地域ケア会議を活用してはどうでしょう。

個別支援地域ケア会議とは、高齢者の困りごとについて多くの関係者で話し合う会議です。まず、地域包括支援センターにご相談下さい。

2

私たちが何か地域でできることがないかな。どこで話し合ったらいいんだろう？



そんな時は
支え合い推進会議があります。

支え合い推進会議とは、小学校区単位で住民の皆様が主体となって地域の課題や支え合い活動について話し合う会議です。（現在は、一部の小学校区で実施）

3

でも、住民主体では解決できない課題はどうするの？



専門的な課題は
地域課題検討ケア会議で検討します。



地域課題検討ケア会議とは、地域包括支援センターと市が主催する、介護や医療などの専門職が地域の課題について話し合う会議です。

例えば、認知症の理解を地域で深める為に様々な関係機関と検討しています。



介護サービス事業所との **地域課題検討ケア会議**の様子



『地域の方に認知症の理解を深めるにはどうしたらいいだろう・・・』

『介護サービス事業所として地域でできることは何だろう・・・』



地域包括支援センターは、地域の皆様や関係機関との協働による高齢者の支援や、専門的な地域課題を解決するためのネットワークづくりを目指します。

次回、1月号では認知症地域支援推進員の活動や市民公開シンポジウムについてお伝えします。

